

## ご意見の内容及びご意見に対するご回答

意見提出元：個人2

No	該当箇所	ご意見の内容	ご回答
1	Ⅲ－２．主要機能(6) ～複数チャネル運用機能～	<p>&lt;意見内容&gt;</p> <p>日本の 920MHz 帯制度では、米国他のスマートメーターで常用されている高速な周波数切替(周波数ホッピング:以下FH)は用いないことが定められている。従って、FHを用いずに他の無線システムや異なるコンセントレータ・グループの間で共存運用を可能することが必要である。</p> <p>この為には、日本の920MHz制度で許容されている低速な(～0.5秒以上)周波数切替(スロー周波数ホッピング、或いはAFA(適応周波数切替))や、周波数拡散(DSSSやOFDM)、アンテナビームフォーム、それらの組合せ技術の検討の余地がある。これらは、軍事・産業用途の高信頼無線に利用されているが、スマートメーターへの適用の可能性もある。</p> <p>更に、ミスユース(セキュリティ)上の観点でも、上記の各高信頼化技術は検討の余地がある。</p> <p>以上の観点から、下記の意見を提出する。</p> <p>「複数チャネル運用」を「チャネル・リソースの活用」に、「エリア毎に異なるチャネルで運用」を「複数エリアのチャネル・リソースを活用した運用管理」に、「単一チャネル運用中」を「単一グループとしてチャネル・リソースを利用」に、「複数チャネル運用へ変更」を「複数グループとしてそれぞれにチャネル・リソースを割当て運用」に、修正変更が適当である。(Ch1、Ch2等は削除)</p> <p>&lt;理由&gt;</p> <p>IEEE802.15.4e(TSCH-SlowHop、DSME)、SGIP-PAP(under discussion)、ISA100.11a、IETF 6Lowpan/Roll (Requirement Documents)などのチャネル・リソース管理審議。</p>	<p>いただいたチャネル運用についてのご意見は、運用性確保の観点から、通信方式の選定評価やシステム設計時の参考とさせていただきます。</p>